

大真名子コメツガ希少個体群保護林

希少-22

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	12.24ha
設定年	1993(H5)年
保護林の概要 (設定目的)	原生林に準ずる亜高山性針葉樹林で、学術上及び森林施業上の考証として貴重である。このため、コメツガが優占し、オオシラビソ、シラビソの混在する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2017年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、コメツガが優占して生育する林分において計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。(旧真名子コメツガ植物群落保護林)
結果概要	コメツガ群落内では、枯損は進行しておらず、下層にコメツガの稚樹や幼木が確認され、健全に生育していることが確認されたが、保護林全体では枯損が進行し、オオシラビソ・シラビソの優占する林況へと推移しているものと評価される。